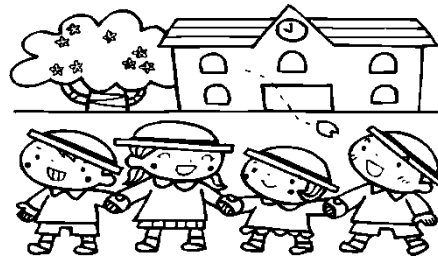


# えんちょう先生の わくわくだより

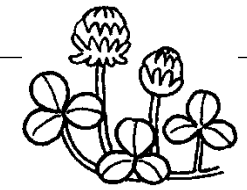
NO. 1 H31. 4. 15



## 入園. 進級 おめでとう!

入園式から一週間が過ぎて来ました。家にいればまだ赤ちゃんで、お家の人の膝に入っている様な子ども達ですが、初めての大きな集団に入って、朝の登園時には「あ〜ん」「あ〜ん」とよく泣けます。入園式にはお父さんやお母さんと張り切って門をくぐった子ども達も、家とは違う生活に戸惑ったり不安になったりし、心細さに泣けるのですが、先生達は「ちょっと外で遊んでこようか?」「この三輪車はどう?」なんて声を掛け、気を紛らわしながら、少しでも早く遊び始められないかと促します。未満児組のチビっ子達は、何を言っても手を振り払って「いやいや」と訴え、抱っこされたり、乳母車で広い園庭を回ってお兄ちゃんおねえちゃんが遊ぶ所を見て回ったり。それでも一日、又一日と過ぎていく中でふと泣き止んでボールを蹴ったり、水道の水を出し始めたり、給食時にはみんなと一緒に座って食べられる様にもなっています。どうなだめても聞けずに「バローに行きたいよお〜」と泣いていたT君も砂場に座り、スコップ片手に「先生、僕もう泣いてないよ」なんて手を振ってくれたり、二輪車におもちゃをいっぱい入れて引き回す2才のT君に、年長のお姉さんが、「人がいる時にはよける!」なんて教えてくれる場面も見られました。進級した年中、年長さんはさすがどっしり落ち着いて、元気よく遊べ、成長を感じます。年中組のN君に「この子にスコップを捜して来てやってくれない?」と頼むと「ハイ!」といい返事で走り出し、持って来てくれるかなあと目を追うと、おもちゃ倉庫の前で、泣いて先生にくっついてる年少さんの帽子が脱げている事に気がつき、黙って帽子をかぶせ、手の平で頭を2回なげ、それから倉庫の中へ・・・スコップ片手に戻ってきたN君に「N君は本当にやさしいなあ。ありがとね」と声を掛けた事です。今泣いている子ども達も、一年経った頃には、きっとこんな風になっていけるから大丈夫です。今は先生達も年中、年長組の子ども達も、新入園の子が一日も早く慣れてくれる様にみんなで取り組んでいます。大きい組の子にとっても、入園時の今にしか出来ない学びの時間となる様に、担任は、働き掛け、今後の子ども達の繋がりが深まる様に見守っていきたいと思っています。子ども達は、これから幾つもの壁を乗り越えながら大きくなっていきますが、子どもには挑戦して、自らを成長させていく力があります。お家の皆さんは、心配しないでどっしりと構えて応援をお願いしますね。

## こどもは、早く出来ないもの!

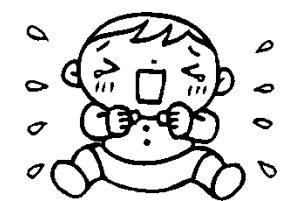


乳幼児期のこどもって、「何で、こんなにゆっくりなの?」「何で言ってもやらないの?」とイライラする事ってありませんか?

そうなんです。乳幼児期のこども達は、言葉で聞いてもすぐにはなかなか動けないんです。自分のやっている事からの切り替えも大人のように早くは出来ないし、自分の好きな事をしていたらもっとやりたいばかりだし、増して寒い朝は布団の中や、こたつから出たくないし・・・それが乳幼児期なんです。生活全体の時間の観念がわかったり、少々いやな事もやらなくてはと、自分を奮い立たせて動けるようになる迄には暫く掛かります。忘れてしまっているけど、お父さんやお母さんもそうだったんです。だからこどもは、ゆっくり大きくなるものと思って付き合ってください。年少さんより年中さん。年長組になる頃には、自分から動ける事がうんと増えてきます。そうやっていく迄は、時間にゆとりを持って向き合う事が大事ですが「そうは言っても忙しい〜」と言うお父さんお母さんの声が聞こえて来そうですね。今より10分早く起こすだけでも、朝の生活がスムーズに流れます。ちょっとやってみてください。元気に園で遊ぶ為に、夜は早く寝ていますか?寝る時には、「今日はこども園で何をして遊んだの?」なんて聞いてもらえていますか?時には絵本を読んで貰っているでしょうか?朝は早起きが出来ていますか?早く起きれば朝ごはんが美味しいですよ。そして、ゆっくり食べられますね。そして何よりお母さんの「はやく はやく」が減りますよ。朝が大変なのは大人も同じですが、そこをひと頑張り!

一日園で遊ぶ活力は、朝の生活から!

ポエム



ちいさくうん  
ころんで ないている  
ちいさい こ  
でも ぼくね  
おこさないで みてたんだ  
おきたら えらいと  
おもいながら  
ママがぼくに するように

やっぱり えらいな  
ちいさい こ  
ほら もうね  
ないてないよ めをふいた  
ほこりを はらって  
しゃんと たった  
ぼくがいつも するように